

授業科目	生活援助技術	単位数	1 単位	講師名	看護教員
		時間数	30 時間		
学年	1 学年		履修期	前期	
授業の目標	1. 人間の自然な動きを理解し、効率的で安楽な動きを作り出す技術を学ぶ 2. 日常生活に支障をもった対象者に対して安全・安楽を考えた生活援助技術を学ぶ 3. 快適な環境を整えるための技術を学ぶ				
担当講師	(12)	(8)	(10)		
授業内容 (授業計画)	1. 環境の調整 1) 環境の調整の意義 2) 病床の設備 病室環境・共有スペース・ 居住スペース (1) 療養環境のアセスメント (2) 療養環境の調整と整備 2. 活動と休息の援助 1) 活動・運動、休息・睡眠 の意義 2) 活動・運動に影響する要因 (アセスメント) 3) 療養生活におけるレクリエーション 4) 休息・睡眠に影響する要因 (アセスメント) 5) 活動・運動、休息・睡眠 を促す援助 6) 廃用症候群	1. 清潔・衣生活の意義 2. 清潔・衣生活に影響する要因 1) 入浴の効果とリスク 2) 口腔ケア 3) 整容（洗面・目耳鼻の清 潔・爪切り・ひげそり） 4) 病床での衣生活（病衣・ はき物）	【食事援助技術】 1. 食事援助の基礎 1) 食事と栄養の意義 2) 食事摂取基準 3) 食事と栄養に影響する要因 4) 食事と栄養のアセスメント 2. 医療施設で提供される食事の 種類と形態 3. 食事摂取の自立困難な人への 援助 1) 摂食嚥下機能について 2) 経管・経腸栄養法 3) 静脈栄養法 【排泄の援助技術】 1. 排泄援助の基礎 1) 排泄の意義 2) 排泄に影響する要因 3) 排泄のアセスメント 2. 自然な排泄を促す援助 3. 自然な排泄が困難な人への援助 1) 導尿 2) ストーマケア 3) 浣腸		
評価方法	1. 筆記試験 2. 課題提出				
注意事項	授業前は、日常生活援助についての DVD 等の視聴・教科書や参考書等を確認し、事前学習をしてから参加する				
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 I〔3〕基礎看護技術Ⅱ（医学書院） 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術（医学書院）				
参考図書	1. 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 氏家幸子／阿曾洋子（医学書院） 2. ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 基礎看護技術（メディカ出版）				